

談話室

産経新聞 令和2年(2020年)4月20日(月)

人を翻弄するSNSの怖さ

大学生 森本明花 19

生か死かの投票を募り自殺した少女の記事を読みました。マレーシアの16歳の少女が、インターネットで生きるべきか死ぬべきかを投票で募り、69%が「死」を選んだ後に、自殺しました。

少女は、シンガポールで働く義父が再婚するので、

会える頻度が減ったため、落ち込んでいたといいます。

今やSNS(会員制交流サイト)はすごく身近なもので、誰でも交流ができて便利です。しかし問題やトラブルも、たくさん起きています。

人が生きるか死ぬかを、

ワンクリックで決めるのは違うと思うし、責任も持てないので、私は無理だと思っています。

誰かがこんなことをしても意味がなく、生きる選択肢をアドバイスしてほしかったと思います。

「死」を安易に選んだ人々には、SNSで人を死に追いやった責任を理解してほしい。

(奈良県大和高田市)

※無断転載不可